

Rapport

2025
Number

128

多摩大学 | 広 報 誌 |

Vol.128 Contents

【産官学民連携センター】

〈長島ゼミ〉大学生企画「チョイスで再発見！秦野を探れ」イベントを開催	02
〈石川ゼミ / 出原ゼミ / 彩藤ゼミ〉小田急のくらしマーケット	02
〈中村ゼミ〉多摩市社会福祉協議会から感謝状を授与	03
アイサンテクノロジー(株)と包括連携協定締結	03

【グローバルスタディーズ学部】

鎌倉の日本遺産 PR に関する PBL での学生発表	03
第 16 回 アクティブ・ラーニング発表祭	04
第 13 回「実学の帝塚山大学」実践学生発表祭に本学より 2 チームが参加	06
2024 年度 退任教員紹介	06
2024 年度 第 2 回 SRC 発表	07
寺島実郎監修リレー講座 現代世界解析講座 XVIII 2025 年度春学期	08
ぶらり多摩歩き「多摩市立中央図書館」	08

大学生企画「チョイスで再発見！秦野を探れ」イベントを開催

経営情報学部 長島 剛ゼミは、本学と連携協定を締結する小田急電鉄株式会社と共催で、2025年2月15日（土）から3月16日（日）までの1か月間、「チョイスで再発見！秦野を探れ」イベントを開催しました。本イベントは、丹沢山地の登山客や「名水百選」に選ばれた湧水などが観光の魅力となっている秦野市において、市内の飲食店利用が少ないという課題を解決するために地域内外からの来訪者を増やし、飲食店の利用促進と地域経済の活性化を図る企画を学生たちが考案しました。イベントでは、まちの謎を解きながら美味しいグルメを探す「秦野グルメクエスト」と、ハイキングで湧水を巡りオリジナルコーヒーを淹れる「HIKING HADANO COFFEE」の2つのプランを用意しました。

イベント初日の2月15日には、学生たちが秦野駅にてPR活動を行いました。秦野駅の協力を得て、駅構内にイベントポスターを掲示し、多くの方に企画を知ってもらう機会となりました。さらに、駅を利用する方々にチラシを配布し、直接声をかけることで、イベントの魅力を伝えました。また、学生たちは、本イベントで紹介するコーヒー豆店やお菓子屋さんなどの飲食店に挨拶回りをを行い、イベントの理解と支援をいただきました。

小田急沿線ではさまざまな大学が、地域との関わりを持ちながら、豊かなまちづくりのための取り組みを行なっています。企業・自治体・沿線の大学同士がつながり、共有・発信することで、魅力的なエリアを作り上げるための根源（Roots）となるよう、「Odakyu Innovation Roots」と名付けました。本イベントはその一環となります。



学生が制作したガイドブック

秦野駅での学生たちのPR活動



〈経営情報学部〉 石川晴子ゼミ・出原至道ゼミ・彩藤ひろみゼミ

小田急のくらしマーケットに出展

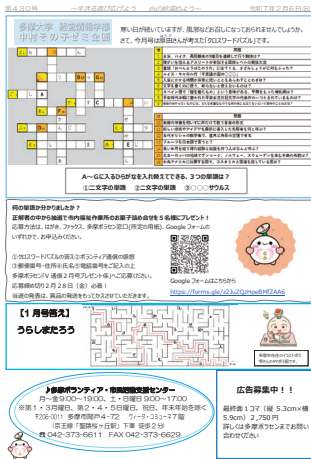
2024年11月30日、小田急多摩線栗平駅北口広場で行われた「小田急のくらしマーケットin くりひら」に、経営情報学部 出原至道ゼミの「ファイヤーボールを投げよう」と彩藤ひろみゼミの「石垣島で遊ぼう」、石川晴子ゼミによる「マチカドこども大学 国際食文化学」が出展しました。小田急のくらしマーケットは、多世代がつながり地元愛を育む地域イベントで小田急不動産株式会社と地域活動団体、地元農家などで構成された「小田急のくらし部」が主催となり今年で6回目を迎えました。今年も多くの地域住民らが来場し、にぎわいを見せていました。

モーションキャプチャーを利用した「ファイヤーボールを投げよう」では、サメやタコなどを手から発射される炎玉で倒すもの。また、「石垣島で遊ぼう」は、メタバース空間を利用したゲームで、途切れることなく来場者が訪れ、「マチカドこども大学 国際食文化学」では、世界の食べ物に関する〇×クイズを交えた文化・食の相違についての講義が石川ゼミの学生によって行われ、地域の催しを盛り上げました。



多摩市社会福祉協議会から感謝状を授与

2025年2月22日、経営情報学部 中村その子ゼミが社会福祉法人多摩市社会福祉協議会から福祉推進の地域活動に大きく寄与した功績に対して、感謝状を授与されました。同ゼミは、令和6年度広報誌「ボランティア通信」の「家にいながら楽しみ脳トレになる」企画を毎月提案し、広報活動に貢献しました。クイズを掲載することで読者の興味を引きつけ、福祉への理解を深めるとともに、社会的つながりの強化に寄与することができました。



中村その子ゼミ企画クイズ



表彰式の様子



表彰された方々の集合写真

アイサンテクノロジー(株)と 包括連携協定締結

多摩大学とアイサンテクノロジー(株) (本社: 愛知県名古屋市 代表取締役社長: 加藤 淳) は、相互が持つ人的資源及び知的資産を活用し、自動運転移動サービスにかかる社会課題の解決に寄与することを目的とし、2025年1月9日(木)に包括連携協定を締結しました。本協定に基づき、本学とアイサンテクノロジー(株)は、移動に関する社会課題の解決や共創による移動サービスの価値創造のための活動を、連携・協力して推進していきます。すでに、2024年11月末より東京都杉並区荻窪において、本学の教員と学生約50名がアイサンテクノロジー(株)と共同で、自動運転の社会実装に必要な社会的受容性についての研究および現地調査等を実施しています。



杉田文章副学長(左)とアイサンテクノロジー株加藤淳社長(右)

グローバルスタディーズ学部

鎌倉の日本遺産 PR に関する PBL での学生発表

グローバルスタディーズ学部「Discover 藤沢・湘南」は藤沢・湘南地域で活躍する方々が登壇し、講義を聴講する授業です。この授業のなかで、本学部と包括連携協定を結ぶ鎌倉市が地域課題を提示し、学生が解決策の提案に取り組む PBL (課題解決型学習) を行いました。2024年10月の授業で、鎌倉市のご担当者から鎌倉の観光や日本文化遺産の現状について講義をいただき、「SNSを通じて鎌倉市の日本文化遺産の知名度を高める」との課題を提示いただきました。

これに対し、2025年1月、12のグループが授業を通じて考えた内容の発表を行いました。神社やお寺などの特定の構成文化財に焦点を絞るグループもあれば、複数の構成文化財の「巡り方」を提案するグループなど、多様な発表が見られました。また各グループは、それぞれのテーマに沿って日本遺産の PR 文も作成しました。

当日は鎌倉市観光課並びに鎌倉市観光協会から職員の方にもお越し頂き、学生の発表を受けてご講評を頂きました。



第 16 回多摩大学アクティブ・ラーニング発表祭

多摩大学では開学以来、大学内での机上の学修にとどまらず、学生が地域をはじめとする学外のフィールドに出て自らの手と足を動かして活動し、行政・企業・NPO・地域団体・地域住民などさまざまな関係主体と連携しながら、課題の発見と解決を目指すゼミ活動を行ってきました。アクティブ・ラーニング（AL）とは一般的に「学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法」と定義されています。開学以来実践してきた AL をさらに活性化すべく、「アクティブ・ラーニングセンター（ALC）」では、AL の研究・開発とプログラムの推進、FD（ファカルティ・ディベロップメント：教員の教育力の開発）、図書・IT・学修サービス、教学マネジメントの推進を行っています。

今年度においても多種多様なプロジェクト・研究などのアクティブ・ラーニングプログラムを展開してきました。その活動の成果を共有する機会として、2024 年 12 月 14 日に『第 16 回多摩大学アクティブ・ラーニング発表祭』を開催しました。001 教室と 101 教室、T-Studio を会場に午前と午後の 2 部制、持ち時間は質疑応答も含め 1 チーム 20 分、高大接続の取り組みとして多摩大学附属聖ヶ丘中学高等学校、多摩大学目黒中学校・高等学校による成果発表、招待発表として帝塚山大学（奈良県奈良市）、東京経済大学（東京都国分寺市）にもご参加いただき、27 チームが熱意のこもった発表を行いました。

【URL】<https://www.tama.ac.jp/al2024/index.html>



タイトル		発表者
世代間交流八王子駅前サロンプロジェクト 2024 (大学コンソーシアム八王子「学生企画事業補助金」対象事業)		経営情報学部 梅澤佳子ゼミ
国内大手小売業 2 社の経営戦略		経営情報学部 落合孝彦ゼミ
多摩市農業公園 & 稲城市弁天通りの現状と課題		経営情報学部 小西英行ゼミ
テーマパークフィールドワークと段ボールガチャ販売から学ぶ体験型学習の実践報告		経営情報学部 新西誠人ゼミ
観光まちづくりコンテストの企画運営		経営情報学部 長島剛ゼミ
能登震災・豪雨被害の現地報告 ～現状と復興計画思想の乖離～		経営情報学部 中庭光彦ゼミ
環境保全を通じての地域のつながりづくり		経営情報学部 野坂美穂ゼミ（代理指導：梅澤）
IT 技術を利用した日本の避難所改善策 ～台湾の事例を中心に～		経営情報学部 バートルゼミ
地域における防犯・防災・交通研究の実践		経営情報学部 樋笠亮士ゼミ
松本ゼミセカンドプロジェクト報告		経営情報学部 松本祐一ゼミ
漫画とアイドルにみる日本と世界		経営情報学部 水盛涼一ゼミ
超高齢社会の課題解決実践 - 独居高齢者へ情報を届ける仕組みづくり		経営情報学部 AL プログラム（担当：梅澤）
「自動運転と社会」における学びと実践		経営情報学部 AL プログラム（担当：樋笠）
大学生の私たちが考える「永遠平和のために」		グローバルスタディーズ学部 桐谷多恵子ゼミ
インバウンド消費動向		グローバルスタディーズ学部 渡邊泰典ゼミ
モンゴル帝国の遺産 - ティムール朝とムガル帝国を中心に-		インターゼミ（アジアダイナミズム班）
Z 世代によるタイパ重視世代に向けた旅のすすめ		インターゼミ（サービス・エンターテインメント班）
団地から発信する外国人との共生		インターゼミ（多摩学班）
乱反射する鏡としての AI - 爆発的に進化する AI が問う社会の未来-		インターゼミ（DX 班）
済州平和フォーラム報告		多摩大学附属聖ヶ丘高校
Product Study ～半完成品を用いて作る世界に 1 つだけの学校用品ブランド～		多摩大学目黒高校 起業体験 SG
空のビジネス - 航空会社への投資戦略-		多摩大学目黒高校 投資戦略 SG チーム A
任天堂の未来は如何に		多摩大学目黒高校 投資戦略 SG チーム B
ロボットカープログラミング		多摩大学目黒高校 プログラミング SG
招待発表	東経大・小木ゼミによる企業とのコラボ活動 ～国分寺物語／TFT ランチ／西武信金アイディアコンテストなど～	東京経済大学 小木ゼミ
	「第 1 回てづかのこどもフェス」プロジェクト	帝塚山大学 教育学部
	法学部における社会貢献活動の紹介 ～帝塚山小学校との学園内連携を中心に～	帝塚山大学 法学部



経営情報学部 梅澤佳子ゼミ



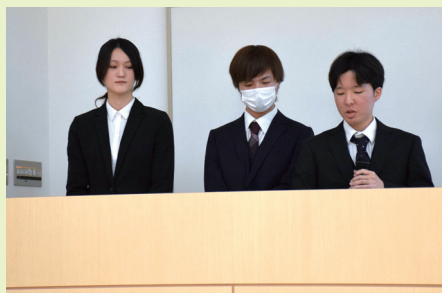
経営情報学部 落合孝彦ゼミ



経営情報学部 小西英行ゼミ



経営情報学部 新西誠人ゼミ



経営情報学部 長島剛ゼミ



経営情報学部 中庭光彦ゼミ



経営情報学部 野坂美穂ゼミ



経営情報学部 バートルゼミ



経営情報学部 樋笠亮士ゼミ



経営情報学部 松本祐一ゼミ



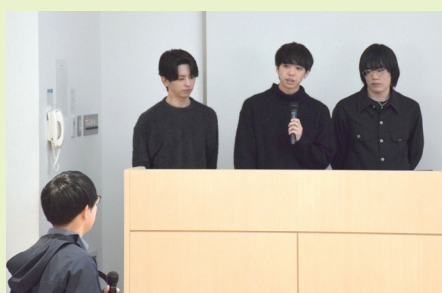
経営情報学部 水盛涼一ゼミ



経営情報学部 ALプログラム



グローバルスタディーズ学部 桐谷多恵子ゼミ



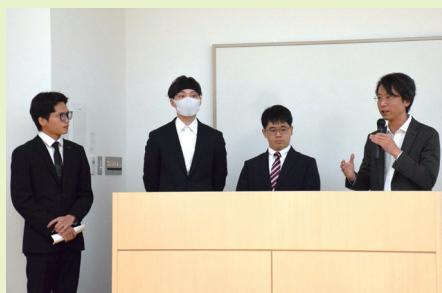
グローバルスタディーズ学部 渡邊泰典ゼミ



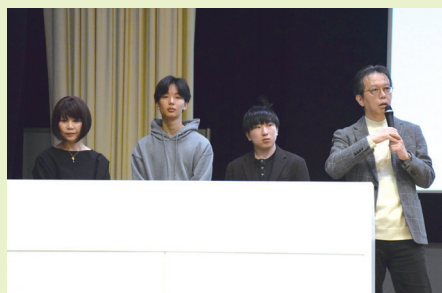
インターゼミ(アジアダイナミズム班)



インターゼミ(サービス・エンターテインメント班)



インターゼミ(多摩学班)



インターゼミ(DX班)

第 13 回「実学の帝塚山大学」実践学生発表祭に本学より 2 チームが参加

2025 年 2 月 22 日、帝塚山大学東生駒キャンパス（学長：奥村 由美子 / 所在地：奈良県奈良市）にて、「第 13 回『実学の帝塚山大学』実践学生発表祭～アクティブ・ラーニングの実践事例～」が開催されました。多摩大学と帝塚山大学は「学術交流に関する包括協定」を締結しており、その一環として毎年実施されている本発表祭に、本学からはインターゼミ（社会工学研究会）「多摩学班」（学生 3 名、大学院生 1 名）と「サービス・エンターテインメント班」（学生 2 名）が参加しました。本学の他には大阪電気通信大学が参加し、3 大学 12 件の多種多様な教育研究分野の発表が行われました。

多摩学班は「団地から発信する外国人との共生」、サービス・エンターテインメント班は「Z 世代によるタイパ重視 Z 世代に向けた旅のすすめ～短期間旅の学びと意識変化の検証～」をテーマに、インターゼミで一年間積み上げた研究成果を報告しました。

帝塚山大学文学部日本文化学科の発表では、創建 612 年の當麻寺の魅力を「発信」するプロジェクトの発表があり、印象的な取り組みでした。多くのチームの発表は、地域との連携を軸にした研究・活動を行い、多摩（東京都）と奈良の地域課題の違いなどを学べる貴重な機会となりました。

帝塚山大学は昨年 12 月 16 日に本学で開催した「多摩大学アクティブ・ラーニング発表祭」にも参加しており、研究発表を行っています。多摩大学と帝塚山大学は、このような研究発表を軸に学生と指導教員が毎年学術交流を深めており、互いに切磋琢磨する貴重な機会となっています。



サービス・エンターテインメント班による発表



多摩学班による発表



会場の様子



バートル教授による講評

2024 年度 退任教員紹介

2025 年 3 月 31 日付



長い間ありがとうございました



経営情報学部
梅澤 佳子 教授



経営情報学部
彩藤 ひろみ 教授



経営情報学部
中澤 弥 教授

2024 年度 第 2 回 SRC (Student Research Conference) 発表

2025 年 1 月 24 日、「2024 年度 第 2 回 SRC (Student Research Conference)」が開催されました。SRC は経営情報学部の学生がホームゼミにおける研究成果を発表する場で、年 2 回 (夏・冬) 行っています。

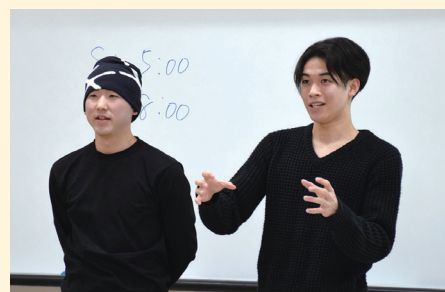
発表と質疑応答を含め 10 分 (Short)、15 分 (Long) の持ち時間が与えられ、今回は 6 教室において卒業研究も含め 100 件を超える発表がありました。研究のテーマや関心は多岐にわたり、教員や参加学生からは様々な質問や意見、アドバイスがあり有意義な場となりました。

〈出原至道ゼミ〉「機械学習による筋電情報分析」「骨格検出によるバックハンドトレーニングシステム」「旅行体験ができる VR の作成」「バッファオーバーフローの検証」「ジェネリック Live2D の開発及び今後の展望」他 〈加藤みずきゼミ〉「音楽の好みと性格特性の関連性」「音楽視聴がもたらす記憶の想起」「多様化する若者のテレビ視聴スタイル」「SNS 投稿における『いいね』行動の心理的要因分析」「災害時における情報拡散の正確性と心理的影響」他 〈木村太一ゼミ〉「私立大学と国立大学の会計方法の違いはあるのか?」〈小林昭菜ゼミ〉「イギリスの多文化主義と社会統合—2001 年から現代まで—」「長江デルタ地域 10 年間の経済と今後の展望 2012 年～2023 年」「白人音楽と黒人音楽の文化統合」他 〈齋藤 S. 裕美ゼミ〉「ゲーム内課金のユーザー行動と心理の影響」「ゲームにおける交友関係の広がり」「デジタルゲームにおけるリーク情報が購入に与える影響」「大学生の漫画やアニメの違法サイトに対する意識と実態」他 〈彩藤ひろみゼミ〉「機構を 3D プリンターで再現」「自作キャラクターを使用した 2D ゲームの試作」「自作イラスト・シナリオを使用したノベルゲーム制作」〈杉田文章ゼミ〉「子どもの運動機会は充分なのか?」「フットサルにおけるファン獲得策としての SNS 利用の現状と課題」「F リーグが注目を集める興行になるためには」「サッカー経営におけるベテラン選手の存在価値」他 〈高橋恭寛ゼミ〉「稽古談」「心に残ったフレーズ」他 〈田中友理ゼミ〉「日本における善行者蔑視の検討」〈中庭光彦ゼミ〉「新規就農者のライフスタイル」「聖地巡礼のブランド化パターンの事例と条件」「地方移住の成功の条件」「空き不動産の利活用」「オートバイ用品会社の経営戦略」「古着屋の仕組みとマーケティング戦略」「観光地のゴミ問題」他 〈樋笠亮士ゼミ〉「空飛ぶクルマの社会的受容性の研究と実践」〈水盛涼一ゼミ〉「K-pop の発展と中日韓のアイドル文化の異同」「漫画とアニメ: グローバル化の中での特色と市場動向」〈志ゼミ〉「ジュニアフットサル環境の地域格差～北海道を例に～」

スポーツにおける勝利主義と体罰

○発表の一覧は右記 URL および QR コードから閲覧することができます。

URL : <https://src.tama.ac.jp/>



「時代認識を深め日本の針路を再考する」

米国が「アメリカ・ファースト」の自国利害中心主義に回帰し、内向する世界に向かう今、日本人も視界を広げ、次に目指すべき方向感を再考せざるをえない状況にある。18年目に入るこの講座も、多くの参加者の考える機会になることを期待している。

【会場】多摩キャンパス 001 教室 【時間】14:50～16:10（受付開始 14:00）【受講料】一般 13,000 円（全 12 回分）

特別割引受講料 11,000 円 *多摩大学後援会会員、多摩市および稲城市の在住・在勤者、他大学学生、多摩大学卒業生・大学院修了生

【ライブビューイング受講料】6,000 円（湘南キャンパス）

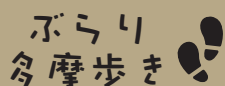
【インターネットオンデマンド（録画）受講料】〈講義資料ネット配信形式〉10,000 円

【主催】多摩大学 【後援】多摩市、多摩信用金庫 【監修】寺島実郎（多摩大学学長）【HP】<https://www.tama.ac.jp/relay/>



	開講日	講師（敬称略）	肩書・役職等	テーマ
1	4月17日（木）	寺島 実郎	多摩大学 学長 （一財）日本総合研究所 会長	世界の構造変化と日本の進路
2	4月24日（木）	海野 素央	明治大学政治経済学部 教授	「トランプ 2.0」ードナルド・トランプ米大統領のリーダーシップスタイルとコミュニケーションスタイル
3	5月8日（木）	井坂 康志	ものづくり大学教養教育センター 教授	知識社会を生きるー「マネジメントの父」ドラッカーが最晩年に書き、考えたこと
4	5月15日（木）	宮田 律	一般社団法人現代イスラム研究センター 理事長	トランプ政権と米国の対イスラエル政策の迷走ー極右支配と戦争で行き詰まるイスラエル
5	5月22日（木）	下斗米 伸夫	神奈川大学 特別招聘教授 法政大学 名誉教授	トランプ II 政権とウクライナ戦争
6	5月29日（木）	中庭 光彦	多摩大学経営情報学部 教授 地域政策デザイナー	地方創生 2.0 と日本社会変動のシナリオ
7	6月5日（木）	シエタル モーティジョージ	静岡大学情報学部 教授	世界に問うー最後の戦争証言を集めて
8	6月12日（木）	田中 孝枝	多摩大学グローバルスタディーズ学部 准教授	中華圏と日本の観光交流のゆくえ
9	6月19日（木）	大谷 徹煇	薬師寺 執事長	仏教と脳科学から学ぶ 人生を幸せに運ぶための六つの条件
10	6月26日（木）	後藤 謙次	白鷗大学 名誉教授 共同通信社 客員論説委員	参院選とその後の日本政治
11	7月3日（木）	趙 佑鎮	多摩大学経営情報学部 教授・学長室長	戒厳令・大統領弾劾政局以降の最大の分岐点に立たされる韓国情勢
12	7月10日（木）	寺島 実郎	多摩大学 学長 （一財）日本総合研究所 会長	2025 年、夏の意味ー歴史認識を深める

【お問い合わせ】多摩大学寺島実郎監修リレー講座事務局 TEL: 042-337-7300 / FAX: 042-337-7103 Mail: relay@gr.tama.ac.jp



多摩市立中央図書館

多摩センター駅から多摩中央公園方面にペDESTリアンデッキを進むと、レンガ坂沿いにガラス張りの壁面と緩やかなカーブが特徴の建物が現れます。多摩中央公園の北西角地に位置する多摩市立中央図書館は、旧西落合中学校跡地から新築移転して 2023 年 7 月に開館しました。傾斜地を利用した地上 2 階、地下 2 階の扇型で、高断熱ガラスや高効率の空調システムを採用した省エネルギーの建築物です。1 階は読書や調べものに適したフロア。開架には一般書、地域資料が揃い、新聞コーナー、静寂読書室、障がい者用サービスエリアなどがあり、大階段のステップブラザはベンチとしても利用されます。2 階フロアは自然採光の明るく開放的で少しにぎやかな空間で、暮らしに関する本や雑誌類、こども向けの本が並びます。多摩市ゆかりの児童文学作家渡辺茂男さんの著書などを紹介する「へなそうるのへや」や親子で本に親しめるスペース、ラーニングcommonsなどがあり、カフェも併設。地下 1 階は事務室と閉架書庫、地下 2 階は公用車と障がい者用の駐車場と駐輪場。蔵書数は 432,765 点（開架・書庫・団体貸出室、2024.3.31 現在）。本学は 2024 年 10 月に同館 2 階サテライトカウンターにて、連携企画展示「多摩大学の本棚～学生＆教員のマイ・ベストブック～」を開催し、経営情報学部の学生・教員が薦める本、約 100 冊を紹介文とともに展示しました。



（写真上）2階開架
（写真右下）建物外観
（写真左下）静寂読書室

住所：多摩市落合 2-35
交通：京王線・小田急線・多摩都市モノレール「多摩センター駅」下車徒歩 7 分
開館時間：9:30～20:00
休館日：第 1、第 3 木曜日（祝日の場合は開館）・年末年始・特別整理期間

